

令和六年度事業計画 総事業費一億六千万円余

奨学生は大学生 四十人
大学院 十人を内定

公益財団法人 伊藤青少年育成奨学会(田代久美子理事長)は三月十九日、「令和五年度通常理事会」を開催し、令和六年度大学奨学生四十人と、同大学院奨学生十人を内定。さらに、四月二十日締切で現在応募受付中の助成事業(高等学校等クラブ活動・地域振興活動助成)や、活性化事業として当奨学会所有の道場「漱玉館」を会場に開催する第三回漱玉館杯争奪「中部地区大学選抜女子剣道大会」など、総額一億六千万円余にのぼる令和六年度事業計画を決めました。

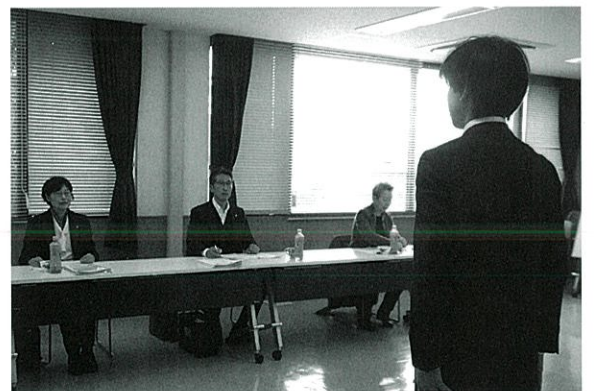
第三回漱玉館杯争奪

「中部地区大学選抜女子剣道大会」も

令和六年度大学奨学生には四十人、ンゴ学園からの二人や、高等学校(内県外十校)から七十五人が応募。通信制の角川ドワ 学校からの編入生も四人を数えるなど、応募者も多様になってきています。



応募事由や自己PRなどを記した申請書と、課題図書、吉田武・著『はやぶさー不死身の探査機と宇宙研の物語』を読んだ小論文等による書面審査(一次選考、



面接風景

一月二十三日)で、五十人が合格(内辞退一人)。面接による二次選考は、三月十三日から十五日までの三日間、多治見市十九田町のバロー文化ホールで実施し、大学二年次編入二人、同三年次編入二人を含む四十人を採用としました。

また、令和六年度大学院奨学生には、初のケースとして高等専門学校専攻科卒生からを含む合計十六人が応募。書面審査(一次選考、課題図書、永田和宏・著『知の体力』)により十人を採用。大学奨学生四十人、大学院奨学生十人とも、三月十九日の通常理事会にて承認され、内定しました。

これにより、令和六年度の当奨学会奨学生の合計は百八十四人、年間の給付総額は六千五百五十二万円となります。

令和六年度助成事業の応募は、四月二十日まで受け付けています。岐阜県内の高等学校のクラブ活動やサークルによる研究活動はもちろん、スポーツ、武道、歴史、芸術教育などの分野における青少年の健全育成や地域振興活動に対して経済的にサポートするものです。

令和五年度助成対象団体の活動報告から抜粋して、六ページに写真で紹介しています。(応募方法は当奨学会ホームページに記載)

活性化事業として取り組む第三回漱玉館杯争奪「中部地区大学選抜女子剣道大会」や、漱玉館の「すす払いや雑巾掛け大会」も青少年育成の一環として実施します。

また、地域の歴史、文化の保存、伝承のためには、施設の保全・保護・補修が欠かせません。これに鑑み、助成事業、活性化事業において、歴史的、文化的施設の維持保全のための事業にも積極的に展開する方針です。

第二回漱玉館争奪

『中部女子学生 選抜剣道大会』開催

公益財団法人伊藤青少年育成奨学会は、バローホールディングスなどとの共催で、十一月二十五日（土）、武道場「漱玉館」において、第二回漱玉館争奪『中部女子学生選抜剣道大会』を開催した。

出場は当奨学会が選抜した朝

日大学（岐阜県）、中部学院大学（同）、愛知大学（愛知県）、愛知学院大学（同）、中京大学（同）、名城大学



参加者一同



白熱の戦い

（同）、福井工業大学（福井県）八大学女子剣道部。五人制の団体戦で、二ブロックでの予選リーグを勝ち上がった四チームによるトーナメント戦により、星城大学が優勝し、二位は中部学院大学、愛知学院大学と中京大学が三位となった。



大会を総評する田代理事長

昨年に続き、タレントの渡辺正行（剣道六段）さん率いる「剣道まつしぐらー」のメンバーも特別参加。トー

ナメント戦終了後には、全日本大会出場者の小川萌々香さん（愛知県警、剣道五段）、外山菜緒さん（岐阜県警、剣道四段）、時田利瑚さん（東洋水産、剣道四段）らゲストチームと、学生選抜チーム



ゲストチームと渡辺さん、まんざらでもねえ

リーとしても使えるように、幸兵衛窯（多治見市）に依頼して創作している。また、参加賞として出場者全員に、「漱玉館」の銘入りの竹刀やバローグランプ・Vドラッグのオリジナル商品、武道の神で知られる鹿島、香取両神宮のお守りなどを贈った。

との特別対抗試合も実施。終日、激しく竹刀を打ち合う音と、大きな声援に熱く盛り上がった。表彰式では、大会長の田代久美子理事長が、「精鋭が集い、気迫がぶつかり合う素晴らしい大会になった。武道と文化の継承を目的に、次世代に繋がる大会にしていきたい」とあいさつ。優勝した星城大学に「漱玉館杯」を、また、上位4チームには賞状とそれぞれにメダルを授与した。メダルは、アクセサ

奨学生頑張っています

信頼される獣医師に

岐阜大学

応用生物科学部共同獣医学科

六年 廣木 悠乃

私は来春から、主に牛を対象とした産業動物の臨床獣医師として勤務する予定です。私が牛の獣医として目指すのは、「農家と消費者を繋げる」役割を担うことです。

”農家の努力でつくられた品質のよい肉や乳、卵をそれに見合う金額で消費者が買ってくれる。その消費者からの支持を受けて、農家もつと良いものをつくる”。こうしたポジティブな流れをつくるために、生産の現場の情報積極的に発信し、農家と消費者の距離を縮めるような活動ができればと考えています。

実習に学ぶ

東京大学

医学部医学科

五年 坂井 雄祐

今年から始まった病院実習も折り返しとなりました。数々の診察科をまわり、座学では気づけなかったこと、実際の臨床で行われている最新の医学や、エコーの当て方や所見の取り方などはじめとした様々な手技を学ぶことができます。毎日の実習が非常に充実しています。

一方で、学びを深めれば深めるほど自身の浅学を実感する日々を過ごして

います。これから歩むべき、先人たちが築いてくれた途方もない道筋を進み続けるためにも常に研鑽し続ける必要があると気づかされました。加えて、ベッドサイドで患者さんとお話するたび、医学が単に机上の学問ではなく、患者さんと医療者という人間同士の関わりの上で成立する学問であることを痛感しています。このようなことを忘れず、これからも実習やその先でも学び続けていきます。

それを実現していくためには、まず

農家の方々から信頼される獣医師になる必要があります。私は早い段階から数多くの経験を積みたいという思いから、牛の種類が多く、診療技術のレベルも高いNOSA2北海道での就職を希望しました。毎日が勉強の日々になると思いますが、農家の方々や獣医師の先輩方から畜産や酪農に関する知識や牛を診る技術を学んでいきたいと思っています。

特別な個性との出会い

朝日大学

健康スポーツ科学科保健医療学部

二年 チアゴカワゴエアリマ

私は、現在も教職課程の体育教員に向けた学習を続けております。二年次からは、本格的な指導案の作成又は学習指導要領に則った教育実習などを行っております。五月二十二日には、美濃加茂特別支援学校へ二日間教育実習に行ってきました。そこでは、知的障がい、肢体不自由、病弱、重複障がいを対象にした約百八十人の生徒が学

習しております。実際、私は高等学部の学級に配属され二日間共に行動させていただきました。主に私は先生方の指導の仕方を見学していましたが、生徒と触れ合うことで、コミュニケーションの難しさや互いに理解し合う困難を感じました。しかし、彼らは我々健常者とは違った特別な個性を持っていることに気づかされました。彼らは私の話を真剣に聞き、中には私の誕生日を暗記しようとしてくれる子もいました。そういった小さな一生懸命努力する力は、彼らだからこそ個性だと思いました。作業するときも一つ一つの工程を大切に一生懸命丁寧に作業していました。「障害者」という言葉が「障がい者」に変化したように、指導者になる立場として、私も生徒一人一人の個性を一番に理解する必要があると学びました。これからも、指導学習が続いていきますが生徒に信頼と尊敬されるような指導者になれるよう日々勉学に励んでいきたいと思えます。

司法試験に無事合格

東京大学 法学部第二類

四年 林 大地

昨年度司法試験予備試験に無事合格することができたため、今年七月に司法試験を受験しました。司法試験は予備試験よりも試験時間が長く過酷でしたが、毎日継続的に勉強に取り込んだおかげで、手応えのある状態で試験を

終えることができました。合格発表は十一月ですので、合格していることを祈りながら日々生活しています。

また、大学の授業にも力を入れ、英文法や租税法、会計学などの司法試験とは関係のない科目も履修し、無事単位を取り切ることができました。

令和五年十一月九日

司法試験合格の電話がありました。

大学案内の表紙に恥じない実力を身につけたい

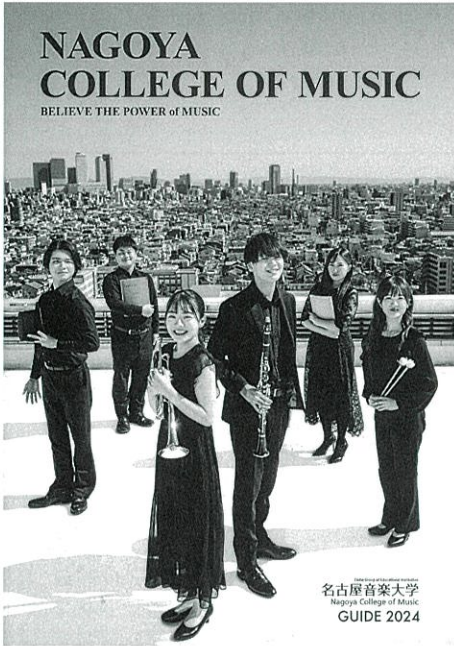
名古屋音楽大学

音楽学部音楽学科

三年 武内 凜子

吹奏楽やオーケストラ、アンサンブルや和楽器との演奏など、色々なジャンルの音楽を勉強しています。ソロでの演奏も続けており、コンクールに出場して積極的に本番を経験するようにしています。

大学の先生方に声を掛けていただき、大学案内パンフレットの表紙に載せてい



ただきました。とても嬉しいです。外部の方からは大学の顔として見られるので、今後も努力を続けて、自信をもってパンフレットを配れるような実力を身に付けられるようにします。後悔の残らないよう、何事にも全力でしっかりと確実に取り組むようにしたいです。

現地でしか得られない山の環境保全の経験

名古屋大学 工学部物理工学科

二年 西川 立悟

夏休み中、木育や山の環境保全のボランティアに参加する機会があり、これまで知らなかった植物や歴史の知識、地元の文化遺産など、様々な物事を教えて頂きました。二日間の活動のうち、一日目は山頂に濃い霧がかかり視



山頂の環境保全活動では、富士見台という山の環境保全活動や山道の柵の修繕等を行いました。

術や知識のすごさをこの身をもって感じる事ができました。二日目は山道の柵を直しながら登山をしました。二日目は霧もかからず、すばらしいみはらしの中で作業をすることができました。しかし、山道の保全をボランティアの方が行う現状について、少し考えるところもありました。また、下山する途中には風穴という遺跡も見学しました。風穴は蚕の卵を保管する場所です。養蚕をするためにつくられたそうです。地下水を利用し

界がさえぎられる中でしたが、植物の生態やそれを用いた手遊び、そしてなにより実際に生で実演しながら生活の中の知恵と共に教えていただけた経験は、本やインターネットでは得難いものでした。二日目には自分もガイドをしましたがやはり上手くはできず、技

です。地下水を利用し夏場でも冷蔵庫ほどに涼しく、神秘的でした。他にも、ハナユリの種をまく行事の手伝いなど、地域に根ざしたもののばかりで、欠かせない仕事だということを実感しました。木育では、実際に参加者の方が木をアクセサリや食器に加工する過程を通して、木や自然に興味と愛着を持ってくれる様子を見られて、自分もうれしい気持ちや達成感を得ることができました。他にも大変学びが多く、感謝してもしきれませんでした。

岐阜大学

医学部医学科

六年 仲 陽香

特に印象に残っているのは奥穂高診療所で過ごした一週間です。奥穂高診療所は岐阜県と長野県の間、そばえる北アルプスの一つ奥穂高岳（三千百九十m）の山荘にある診療所で、毎年夏の間だけ、岐阜大学から医療スタッフが交代しながら派遣されています。私は一年生の頃から参加を考えていましたが、念願叶って、今年初めて参加することができました。診療所へは上高地から二日かけて山を登

奥穂高診療所にて

岐阜大学

医学部医学科

二年 岩田 千紗子

夏期休暇中に大学が所有する奥穂高診療所で一週間のボランティア活動に参加してきました。七十年近く続く診療所ですが、コロナの影響でここ数年は閉鎖されていたので久しぶりの活動だそうです。診療所は奥穂高山荘に併設されていて外傷の応急措置や高山病の治療を行います。

全長十八km、低差二千mの登山道で重い荷物を背負って登ります。登山初心者だったのでとても不安でしたが天

り、たどり着きます。山での暮らしは、非日常の連続です。まず、朝は四時半起床。真夏でも、山頂は真冬のよう、寒い、ダウンジャケットを羽織り、コーヒーを飲みながら日の出を待ちます。朝日は長野県側から見えるのですが、反対側では、私の故郷である高山市を暁色に染まった雲の下に眺めることができ、とても感動しました。靴ずれや高山病の患者さんは夕方が多いので、昼間は診療所の屋根にのぼって読書をしたり、周辺の別の山に登頂したり、山荘のお手伝いをしたりして過ご

気にも恵まれて

気持ちよく登る

ことが出来まし

た。

患者さんが少

ない時間帯には、

山荘でお弁当作

りやベッドメイ

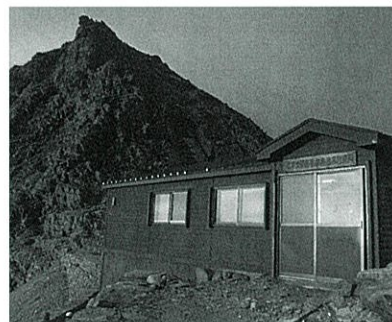
キングを手伝い

山荘スタッフの方

の登山者の方と交流しました。物資

が限られていて天候もすぐ変わる中、

工夫して過ごしており皆さんとても温



しました。初対面で集まったメンバーと初めての場所で過ごすということ、緊張していました。一週間の生活で協力し合い、全員が無事に下山することができ、帰りに入った温泉は格別でした。本当に貴重な体験をさせていただきました。山登りはこれからも続けていきたいと思えます。

かったです。また山荘近くの酒沢岳

奥穂高岳に登りました。雲海と周りの

山々が眼下に広がる絶景で心も体もリ

フレッシュ出来ました。

今回の参加で印象的だったのは診療

所に来る患者さんが口々に「こんな山

の上で医療を提供してくれてありがと

う」と感謝の言葉を言われていたこと

です。医療がないのが一般的、怪我や

体調不良は自己責任という山の上での

診療所はこんなに登山者の方を勇気づ

けるのだと思いました。機会があれば

来年も参加したいです。

シリーズ

第37回

この本をあなたにも薦めたい

伊藤青少年育成委員会 事務局長 加納 志貴

『サピエンス』

全史



著……Y.N.ハラリ

訳……柴田裕之

発行：河出書房新社 上下二冊

二〇二三年十一月

AIが力をつけるにつれ、私たちサピエンスは「その構築者からチップへ、さらにはデータへ」と落ちぶれ、ついには溶けて消えるのだ。

歴史の終わりではない—人間が支配してきた時代が終わるにすぎない。

私たちは「なにものか」。

どこから来て、どこまで行く

のか。

おもしろいよ！

活動報告書

長良高等学校 演劇部



創作劇『星観る子ども』ファイナーレ 写真は@アジナ

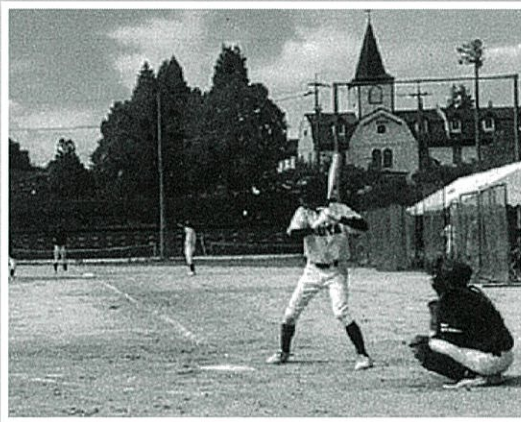
耳の聞こえない人にも、BGMによって劇の雰囲気が変わっていく様子が少しでも感じ取れるようにならないかと、音響担当者はサブウーファアの振動の強さに注目して、肌で感じられるBGMを目指して実験しています。

多治見工業高等学校 機械工学研究部



ピコピカ式の発電装置を組み立てる小学生 (ピコピカ水力発電の出前授業=土岐市立濃南小学校)

多治見北高等学校 軟式野球部



秋季東海高校軟式野球大会決勝で、全国屈指の強豪・中京高校を破り、創部六十五年目にして初優勝。

岐阜第一高等学校 自転車競技部



かごしま国体で健闘する部員

第五十八回全国都道府県対抗自転車競技大会で、岐阜県チームの一員として出場し優勝。

特別国民体育大会(かごしま国体)に岐阜県選手団の一員として部員四人が出場。少年男子1kmタイムトライアル種目七位で、天皇杯特典を獲得。

山岡道場(柔道部)



助成金で購入した投げ込み人形で練習するちびっ子たち

市立岐阜商業高等学校 陸上競技部



成長する陸上競技部員

八月の全国高校総合体育大会、十月のU18陸上競技大会、ともに円盤投げで松田流輝選手が優勝、田中伸明選手が五位入賞。十月のU18陸上競技大会ではやり投げで鈴木風士選手が八位入賞。

令和五年度助成事業報告より



公益財団法人
伊藤青少年育成奨学会

〒507-0062 岐阜県多治見市大針町661番地の1
株式会社パローホールディングス本部内
※Eメールアドレス、電話番号はホームページでご確認ください。
<https://www.ito-zaidan.or.jp>



発行 公益財団法人
伊藤青少年育成奨学会
印刷 新日本印刷株式会社